

SON-DAY, March 14th, 2010 WORSHIP SERVICE No.322

単立キリスト教会 マラナサ・グレイス・フェローシップ Maranatha Grace Fellowship [MGF] Since Jan. 18, 2004

牧仕: 菊地 一徳 (かずなり) 教会所在地: 〒381-0084 長野市若槻東条 541-2 フカサビル2F 長野クリスチャンセンター内

☆ www.mgf-jc.com □ mgfchurch@ybb.ne.jp / 電話、郵便物は菊地宅まで 〒381-2247 長野市青木島 1-32-17 ☎/Fax:026-285-4713

礼拝黙想 Meditating on Worship

A 世界史上、ユダヤ人ほど波乱万丈で数奇な運命をたどった民族は他にない。彼らは祖国を失い、世界中に離散し、行く先々で迫害を受け、通産 2000 年もの間、流浪生活を強いられた。にもかかわらず彼らは絶滅することがなく、国を再興し、世界最高レベルの軍事技術、農業技術、ハイテク技術を誇り、現在も世界の注目の的となっている。祖国が滅亡した民族で、5 世代以上も民族としての純粋性とアイデンティティーを保持したのはユダヤ人において他に存在しない。有名な歴史家アーノルド・トインビーは「ユダヤ人が存在していること自体が奇跡である」と述べているが、まことに至言である。▲約 2000 年前、イエス・キリストは世の終わり(終末)に起こる前兆の一つにイスラエル民族の存続を挙げている。「まことに、あなたがたに告げます。これらのことが全部起こってしまうまでは、この時代は過ぎ去りません」(マタ24:34)。「時代」の原語(ギリシャ語)は「ゲネアー」と言い、「民族」も意味する言葉で、英語の「ジェネレーション」の語源ともなっている。つまり、「世の終わりの時代に起こるすべてのことが起こるまで、この民族は決して滅びることがない」という預言である。▲ユダヤ人と聞いて人々が思い出すのはなんとと言ってもホロコーストではないだろうか？ ナチス・ドイツによって 600 万人ものユダヤ人が大量虐殺された出来事である。しかし、ユダヤ人に対する迫害はそれよりるか以前から行なわれていた。イエスはエルサレム陥落(神殿崩壊)とユダヤ人の大量虐殺についても預言しておられた(マタイ 24 章全体とルカ19:37~44)。それは約 40 年後に文字通り成就した。AD70年8/28、ローマ10軍団を率いる将軍ティス・ヴェスパシアンがエルサレムに侵攻した(第1次ユダヤ戦争)。ユダヤ人は1

60万人虐殺、9万7千人が奴隷とされた。イエスが「石がくずされずに、積まれたまま残ることは決してありません」と預言された通り神殿も完全に破壊された。ちなみに1つの石の重さ100~120トンもある。その後、エルサレムを追放されたユダヤ人はもう一度蜂起するが(第2次ユダヤ戦争)、AD135年、ユダヤ人を憎悪したハドリアヌスは60万ものユダヤ人男性を虐殺し、彼らを祖国から追放した。そしてイスラエルを「フィリステイナ」(パレスチナ=イスラエルの最大の敵ペリシテ)と改称し、エルサレムを「アエリア・カピトリナ」(皇帝の苗字にちなんだ)に改名してしまった。AD321年、ローマ皇帝コンスタンティヌスがキリスト教を公認したことにより、キリスト教への迫害は終結したが、ユダヤ人にとってはいわゆるキリスト教国家による差別と迫害の始まりとなった。教会の指導者は、ユダヤ人に「キリスト殺し」というレッテルを貼り、積極的に敵視、迫害してきた。11~13世紀にかけて十字軍も異端者としてパレスチナのイスラム教徒と共にユダヤ人を虐殺。ヨーロッパ各国でもユダヤ人は宗教裁判にかけられ、死刑宣告され、追放を余儀なくされた。1348年、ヨーロッパの黒死病(ペスト)が流行して人口の3割が命を落とすと、「ユダヤ人が井戸に毒を入れた」と噂され、100万人以上が虐殺された(ユダヤ人は旧約の食物規定を守り感染しなかった)。スペインでは1481年から1820年までに35万人以上のユダヤ人を処刑されている。1600年代にはポーランドで40万人が虐殺。16世紀後半、イタリア、オーストリアの「ゲッター」の政策により、ユダヤ人は隔離され、監視下に置かれた。1881~1902年にかけて、ロシア系ユダヤ人に対し、ロシアのキリスト教がポグロムを仕掛けた。ポグロムとは破壊、略奪、殺人、

婦女暴行。教会は黙認し、攻撃に手を貸すこともあった。ロシア皇帝ニコライ2世も反ユダヤ主義者を公言していた。死者6万人、負傷者はその数倍あったという。そしてその後のナチスによるホロコーストと、ユダヤ人に対する迫害は続いていった。▲しかし、聖書は歴史上最も不幸を被ったこの民族の苦難を、なんと約 3500 年前から克明に預言している。申命記 28 章 20 節以降に、イスラエルの不従順に対するのろいが列記されているが、それは上記のユダヤ人の苦難の歴史をすべて言い当てている。要約すると、「神に聞き従わないなら、彼らは他国の侵略を受け、ユダヤ民族は2度祖国から追われる。1度目はある国で捕囚となり、2度目は世界中に散らされ迫害されるようになる」というものだ。「ある国」(バビロン)に捕囚されるとの預言(申28:36)は、それから800年後の預言者イザヤによって具体的に預言されている(イザ39:6)。また2度目の侵略の際世界中に離散するという預言(申28:49)は、「わし」をエンブレムとするローマ帝国によって成就した。これについてはイエスの預言の成就として既述した。ユダヤ人が流浪の民となるとの預言(申28:64~67)は、BC8世紀の預言者ホセア(ホセ9:17)によっても、イエス(ルカ21:24)によっても預言されている。さらに旧約聖書には、世界中に離散した流浪の民イスラエルは再度祖国に帰還すると預言されている(エゼ36:24;37:21)。そして、このにわか信じ難い預言は、果たして1948年5月14日イスラエル共和国独立をもって成就した。1900年間も歴史の中で屍となっていた国が、忽然と世界史の表舞台に姿を現したのである。聖書はそれ以降、即ち現代の預言も克明に記している。今後の世界情勢が手に取るようにわかる。Ω

● お知らせ：今年の SON-RISE SERVICE (復活祭) は 4 月 4 日 (日曜日)

● ハイチ大地震の被災者及びイスラエルの生活困窮者に物資支援をするための募金は 3 月一杯受付。

● MGF ホームページ大幅更新。推薦図書、伝道用ツール等紹介。

「教会 [マラナサ・グレイス・フェローシップ (略称: MGF)] はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです」(エペソ 1:23)。「そしてあなたがた [MGF] は、キリストにあって、満ち満ちているのです。キリストはすべての支配と権威のかしらです」(コロサイ 2:10)。